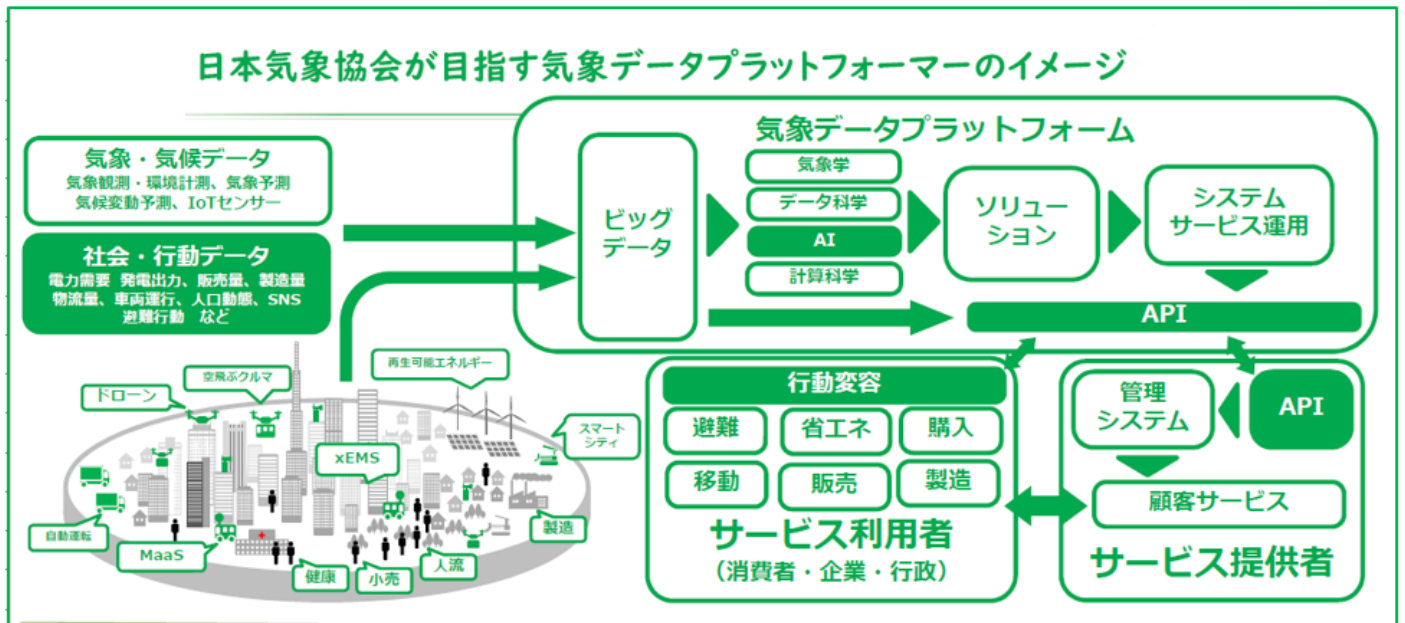


【日本気象協会の目指すべき姿】

日本気象協会は2020年度に設定した中期経営計画（ビジョン2023）にて、以下の「目指すべき姿」を定義しています。

- ・気象会社からさまざまな社会の課題を解決するプラットフォームへ変革し、超スマート社会を先導する
- ・気象データとさまざまな知識や情報を組合せ、お客様とともに新たな社会的価値創造を推進する
- ・気候変動や気象災害による社会影響を最小限に抑える活動を推し進め、社会から信頼され、生活者にやさしい企業の地位を確立する

日本気象協会は気象データの活用を軸に「社会・行動データ」を結び付けることによって、社会の問題解決を図る「Society 5.0時代の気象データプラットフォーム」として活動します。



【一般財団法人 日本気象協会について】

日本気象協会は1950年の設立以来、気象・環境・防災などに関わる調査解析や情報提供を行ってきました。昨今、気象の激甚化や地球温暖化、エネルギー問題、情報化社会の進化、超高齢化・少子化社会の到来など、世の中の状況が大きく変化してきています。

日本気象協会の最大の強みは調査解析技術とリアルタイムに情報を提供できる技術を併せ持つこと。世の中の変化に対して、強みを生かし法人や個人のお客様とともに、「自然界と調和した社会」の創生を目指し未来を切り開いてまいります。

設立年月日 : 1950年5月10日
 気象業務法による許可番号 : 第5号
 代表者名 : 会長 春田 謙
 本社所在地 : 東京都豊島区東池袋3-1-1
 サンシャイン60 55階
 事業内容 : 気象コンサルティング、
 調査、解析、情報提供
 従業員数 : 812名
 (2020年7月1日現在)
 技術者 : 気象予報士 315名
 技術士 118名
 RCCM 55名
 博士 17名
 環境計量士 24名
 測量士 27名
 支社・支店 : 全国5支社、5支店を展開
 ウェブサイト : <https://jwa.or.jp/>

